

助成申請書

2007年 11月 20日

日本たばこ産業株式会社
CSR推進部 社会貢献室 御中

ふりがな 法人名	とくていひえいりかつどうほうじん ほっとねっと 特定非営利活動法人 ほっとねっと(HOTNET)					
ふりがな 役職・代表者名 <small>※印は法人の「代表者公印」を押印のこと。</small>	りじちよう いたう みつる 理事長 伊藤 満 (印)			ふりがな 役職・担当者名	りじ てらまえ みか 理事 寺前 美加	
所在地	〒 630 - 8133 奈良県奈良市大安寺1-23-1 県解放センター2階					
連絡先	TEL: 0742-64-0015			FAX: 0742-64-1640		
	E-mail: npohotnet@yahoo.co.jp			URL: http://www.bltnara.jp/hotnet/top.html		
法人格	特定非営利活動 法人			設立年月日	2002年6月21日 <small>※特定非営利活動法人は認証日を記載。</small>	
事業地域	奈良県			所管官庁	奈良県庁(奈良県知事)	
従事者構成	常勤職員	名(有給)	非常勤職員	1名(有給)	ボランティア	10名(有償)
		名(無給)		名(無給)		20名(無償)
貴法人で取り組んでいる主な活動分野を「別紙」から選び、番号で記入して下さい。(複数可)				2・3・5・6・8		
貴法人の活動は主にどのような形態で行われていますか。最も近いものを「別紙」から選び、番号で記入して下さい。(複数可)				1・2・3・4・5・6		
本助成事業について、どこから情報を入手しましたか。「別紙」から選び、番号で記入して下さい。(複数可)				1・4		
今回の申請事業は、貴法人の理事会で承認されたものですか。				はい		
「(財)たばこ産業弘済会」および当社から助成を受けた実績はありますか。ある場合は、右欄に記載下さい。	年度	事業名:			金額	円
	年度	事業名:			金額	円
<p>●法人の目的及び主たる事業 (目的) 人権の擁護・平和の維持等に関する啓発や社会教育等の事業を行うことで、すべての人の人権のさまたげられることのない「まちづくり」推進を通じて差別の撤廃、男女共同参画社会の形成、および子どもの健全育成に寄与する。</p> <p>(事業)</p> <p>1. 冒険遊び場「ひーとびーとの森」管理・運営 2. 人権に関する研修会・ワークショップの開催。教材・プログラム研究 3. 人権の視点から、情報弱者へのIT支援(主にパソコン教室) 4. 人権博物館(水平社博物館)でのガイド 5. 人権相談(電話・メール・面談) 6. ニート・引きこもり・軽度発達障害者・シングルマザーなど困難を抱えた人の就業等社会参加支援 7. 食の安全・地域コミュニティ再生のための農作物づくり 8. 異文化理解のための英語フリートーク</p>						

(次ページに続く)

スケジュールと具体的内容	<p>(2008年7月、2008年11月、奈良県宇陀市榛原区八滝にある冒険遊び場「ひーとびーとの森」でロープなどの道具を使いながら「自己責任で自由に遊ぶ」という理念の「プレイパーク」づくりを体験</p> <p>☆循環型社会を学ぶための「菜の花畑づくり」体験 2回 (2008年6月、2008年10月、奈良県磯城郡田原本町法貴寺にある畑で安全な食や燃料になる作物栽培を通して地域や個人の自立を考える)</p> <p>☆英語フリートークにより、異文化理解 1回 (2008年12月、奈良市高御門町のカフェ「由庵」で英語による外国人旅行者とのクリスマスパーティと書道もしくは武道体験)</p> <p>☆ ワークショップファシリテーター養成講座 2回 (2008年1月、3月。場所未定) ワークショップ型会議の体験で未来型自治会や学校などの運営方法を学ぶ</p> <p>★複数年の助成を希望する場合、2年目の事業概要を簡潔に記載して下さい。</p>
職員人件費	<p>●職員人件費を申請している場合は、受給者の業務内容を詳細に記載して下さい。</p> <p>各回講座時の運営主任者として 受講生募集や講師との折衝など庶務・会計など事業のための事務局スタッフとして</p>
事業実施の効果	<p>●事業の実施により、どのような効果が期待できると考えていますか？</p> <p>ESDの考え方が広がることにより、個々の様々な活動や興味が「持続可能な世の中づくり」「地域コミュニティの再生」という同じ目的でつながりあい、学びあうこととなり、個人や団体や地域の課題を相互に解決しあう視座を養うことができる。</p>
助成期間終了後の展望	<p>●助成期間終了後、どのように発展・展開させていこうと考えていますか？</p> <p>各地域にプレイパークや循環型社会のしくみなど、開催した講座の手法を取り入れたコミュニティ・地域教育力ができるように、裾野の拡大を支援する態勢を整える。 当NPOのプレイパークや畑づくり、ワークショップなどのモデルとしての質をより高めるため、当NPOでの指導者養成に力を入れる。</p> <p>●事業を継続するにあたっての、収支の見通しについて記載して下さい。</p> <p>各地域の子ども会に呼びかけ、子ども会行事の中に継続的に講座や行事への参加を取り込んでもらい、参加費収入の安定化を図る。 学校教育にESDを取り入れてもらい、地元企業や行政からの資金提供による当NPOの講座の学校現場での開催の継続化を進める。</p>

(以上)

●過去1～2年の主な活動

- 2006年 日本郵政公社年賀寄附金配分事業「ニート・引きこもりなど困難を抱えた若者支援事業」
 2006年 奈良県環境県民フォーラム自然分科会「ひーとびーとの森・自然体験講座」
 2006年 県との協働事業「人権啓発・教育」コーディネーター養成講座
 2007年 東洋ゴムグループ環境保護基金助成事業「ひーとびーとの森・子どもと確かめる淀川源流域の環境」
 2007年 赤い羽根共同募金配分事業「冒険遊び場・ひーとびーとの森でプレイパーク」
 2007年 奈良県中央善意銀行助成事業「就業等社会参加が困難な人の自立支援」
 2007年 NIFS国際交流助成事業「奈良を知りたい外国人と奈良を伝えたい人の出会うカフェ」

●代表者の略歴・活動実績<理事長 伊藤満>(学歴・職歴)1980年同志社大学教育学部卒業。1981年奈良県桜井市市役所勤務。1996年桜井市役所退職。部落解放同盟奈良県連合会勤務。2002年NPO法人ほっとねっと設立、理事長就任。
 (主な活動歴)子ども会指導員。環境・人権誌「モリカワネイチャークラブ」発刊。父親の子育て参加を促進させるサークル「おやじの会」結成。アースデイならSouth実行委員長。地域の高齢者向け生活サポートストア「かさがみ」立ち上げ、運営。知的障害者施設「メイクるタウン」役員。桜井市大福地区人権のまちづくり委員。

前年度の総事業費 4,196,075 円 内、収益事業費(0)円

2008年度の法人の事業及び収支予算について	主な事業			
	1. 冒険遊び場「ひーとびーとの森」管理・運営			
	2. 人権に関する研修会・ワークショップの開催。教材・プログラム研究			
	3. 人権の視点から、情報弱者へのIT支援(主にパソコン教室)			
	4. 人権博物館(水平社博物館)でのガイド			
	5. 人権相談(電話・メール・面談)			
	6. 困難を抱えた人の就業等社会参加支援			
	7. 食の安全・地域コミュニティ再生のための農作物づくり			
	(収入)		(支出)	
	年会費3000円×70名	210,000 円	事業費	3,500,000 円
助成金・補助金	1,500,000 円	管理費	1,410,000 円	
寄付金	200,000 円		円	
事業収入	3,000,000 円		円	
	円		円	
計	4,910,000 円	計	4,910,000 円	

申請事業 企画書

事業名	地域コミュニティ再生を担える次世代育成のためのESD
背景と目的	<p>●事業実施の背景（地域社会が抱える青少年をめぐる課題・ニーズ）と事業の目的 地域コミュニティが崩壊し、世代間交流も薄れ、地域の教育力がなくなったことや、子どもにとって遊びや学びの空間・時間・仲間がなくなったことにより、不登校・いじめなどが頻発し、その延長線上にニートや引きこもりなど困難を抱えた若者を増産している現状がある。2005年から始まった「持続可能な開発教育のための国連10年」(ESD)の理念にもとづき、参加型手法による教育で、「持続不可能」な環境に陥っている地球や地域を再生して、皆が暮らしやすい持続可能な社会づくりのために、今の世の中の中のしくみにかわる多様な代替案を提案し、実行できるような力を身につけながら青少年の抱える「生きづらさ」を解決し、生き活きとした学校生活、地域生活をおくれるようにする。</p>
事業概要	<p>●事業の概要（誰が、誰に、何を、どのような方法で実施するのか？） NPO法人ほっとねっとが、NPO法人青少年自立援助センターブルーム・奈良県環境県民フォーラム・奈良カフェ「由庵」の連携・協力等の下、小学生・中学生・高校生とその指導者を対象に、ESD理念に基づく参加型学習を行う。学習の内容は自然体験・遊び場づくり・英語による外国人とのコミュニケーション・参加型学習やまちづくりの促進役となるファシリテーター養成講座を各分野の専門家の講師とサポートスタッフにより教授する。</p> <p>●対象となる青少年の年齢層（小学生～中学生～高校生） 小学生・中学生・高校生</p> <p>●申請事業の特性（該当する項目の番号に○印を付けてください） 1. 申請者が以前から実施している事業と同一の継続事業 2. 申請者が以前から実施している事業を改善・発展させた事業 3. 申請者が2008年度から新規に取り組む事業</p> <p>★上記で「2」を選択した場合の改善・発展させていく内容 個々の講座のESD(持続可能な社会づくりのための教育)としての統合・相互作用性</p>
助成期間	<p>●希望する助成期間（該当する項目の番号に○印を付けてください） 1. 1年間の助成 2. 複数年の助成</p>
スケジュールと具体的内容	<p>●事業実施期間（開始日～終了日） 2008年4月～2009年3月</p> <p>●事業実施者（提携団体等を含む） 事業実施者 NPO法人ほっとねっと 提携団体 NPO法人 青少年自立援助センターブルーム アースデイならSouth実行委員会 奈良県環境県民フォーラム 協力 奈良カフェ「由庵」</p> <p>●個々のプログラムのスケジュールと具体的実施内容 (いつ、どこで、何人の対象者に、何を、どのように実施するのかを現時点で分かっている範囲でご記入下さい)</p> <p>☆アースデイならSouth 裏方体験 1回 (2008年4月、奈良県橿原文化会館前で開催される「アースデイ」の運営方法などを開催日当日、音響担当専門家などの指導の下、スタッフとして関わりながら体験</p> <p>☆冒険遊び場「ひーとびーとの森」で遊び場づくり 2回</p>

(次ページに続く)

※申請金額欄について

(1)単価10万円以上の物品購入、工事費等については、必ず見積書(写し)を添付して下さい。

(2)人件費の内訳には、職務、時給単価、1日の勤務時間、勤務日数を記載して下さい。

項目	金額	内訳(算出根基)	
申請金額	職員人件費	448,000 円	※申請金額計②の50%以内 ・非常勤職員1名 800円/h×7h×8日(講座開催日) 800円/h×7h×6日×12ヶ月(庶務)
	物品購入費	200,000 円	※申請金額計②の50%以内 ・農機具 60000円 ・デジタルカメラ 30000円 ・食材費 10000円×8回 ・ワークショップ・冒険遊び 材料費 30000円
	工事費・改修費	円	
	賃借料	10,000 円	会場借上料 5000円×2
	旅費・交通費	円	
	印刷費・製本費	円	
	謝礼等	320,000 円	講師謝礼 20000円×2人×8回 有償ボランティアスタッフ 4000×3人×8回
	通信費	16,000 円	案内送付 80円×100箇所×2回
	その他経費	6,000 円	雑費
	計 ②	1,000,000 円	※収入欄の申請金額と一致
合計 ①+②	1,300,000 円	※収入合計額と一致	

申請事業 収支見込書

【収入】

※補助金、寄付金、助成金等は、申請中または見込みも含めて記入して下さい。

項目		金額	内訳(算出根基)
自己資金		300,000 円	<ul style="list-style-type: none"> ・ 参加費500円×20人×8回=80000円 ・ 法人の現預金から 280000円
国、地方公共団体からの補助金等		円	
民間機関から	寄付金	円	
	協賛金	円	
	助成金	円	
JTへの申請金額		1,000,000 円	※合計金額の80%以内
合計		1,300,000 円	※申請事業に係る収入合計額

【支出】

※支出の費目は、自己資金等で充当する部分と申請金額で充当する部分に分けて記載して下さい。

項目		金額	内訳(算出根基)
自己資金等	保険料	7,200 円	30円×30人×8回
	会議費	40,000 円	500円×10人×8回
	交通費	160,000 円	2000円×10人×8回
	物品購入費	12,800 円	データ保存用メモリ2800円 紙・封筒代10000円
	管理費	80,000 円	通信代・光熱費など
	その他	円	
計 ①		300,000 円	※収入欄の「自己資金」+「補助金等」+「寄付金等」の金額と一致

(次ページに続く)

2008年3月19日

特定非営利活動法人
ほっとねっと
理事長 伊藤 満 様

日本たばこ産業株式会社
CSR 推進部長 篠原 政美



2008年度 JT 青少年育成に関する NPO 助成事業の選考結果について

この度は、当社の「2008年度 JT 青少年育成に関する NPO 助成事業」にご応募いただきまして、ありがとうございました。

ご申請いただきました事業につきまして、社外有識者を中心に構成する「NPO助成プログラム推進委員会」での審議を踏まえ、選考いたしました結果、誠に残念ではございますが、今回の助成は見送らせていただくこととなりました。

なお、応募状況につきましては、ご参考までに「応募状況について」を同封させていただきました。

末筆ではございますが、貴法人のますますのご繁栄とご活躍をお祈り申し上げます。

日本たばこ産業株式会社
CSR 推進部 社会貢献室
〒105-8422 東京都港区虎ノ門 2-2-1
TEL 03-5572-4290
FAX 03-5572-1443

2008年度 JT 青少年育成に関するNPO助成事業／応募状況について

活動分野別

		2008年度	
応募総数		148	100.0%
分類	自然体験	25	16.9%
	環境美化・保全	23	15.5%
	文化・芸術・スポーツ	18	12.2%
	その他講座・学習	17	11.5%
	障害児（者）支援	16	10.8%
	地域交流・まちづくり	14	9.5%
	居場所（不登校・ひきこもり）	13	8.8%
	その他	11	7.4%
	多文化・国際理解	4	2.7%
	遊びや各種体験の提供（たまり場）	2	1.4%
	学童保育	2	1.4%
	ボランティア活動	1	0.7%
	総合学習	1	0.7%
	親子交流・母親支援	1	0.7%

都道府県別

		2008年度	
応募総数		148	
北海道	5	3.4%	
青森	0	0.0%	
岩手	4	2.7%	
宮城	6	4.1%	
秋田	0	0.0%	
山形	0	0.0%	
福島	1	0.7%	
茨城	2	1.4%	
栃木	0	0.0%	
群馬	2	1.4%	
埼玉	3	2.0%	
千葉	5	3.4%	
東京	24	16.2%	
神奈川	6	4.1%	
新潟	9	6.1%	
富山	0	0.0%	
石川	2	1.4%	
福井	2	1.4%	
山梨	2	1.4%	
長野	6	4.1%	
岐阜	3	2.0%	
静岡	4	2.7%	
愛知	0	0.0%	
三重	1	0.7%	
滋賀	3	2.0%	
京都	3	2.0%	
大阪	13	8.8%	
兵庫	3	2.0%	
奈良	2	1.4%	
和歌山	2	1.4%	
鳥取	0	0.0%	
島根	2	1.4%	
岡山	1	0.7%	
広島	4	2.7%	
山口	1	0.7%	
徳島	0	0.0%	
香川	1	0.7%	
愛媛	2	1.4%	
高知	1	0.7%	
福岡	5	3.4%	
佐賀	4	2.7%	
長崎	0	0.0%	
熊本	0	0.0%	
大分	2	1.4%	
宮崎	3	2.0%	
鹿児島	3	2.0%	
沖縄	6	4.1%	

法人類型別

		2008年度	
応募総数		148	
分類	特定非営利活動法人	132	89.2%
	財団法人	3	2.0%
	社団法人	9	6.1%
	社会福祉法人	3	2.0%
	学校法人	0	0.0%
	任意団体	1	0.7%